



代々木山谷小学校の調整区域の新設について

1 概要

令和5年度より、代々木山谷小学校の通学区域に、鳩森小学校を希望校とする調整区域を新たに設定する。

2 理由

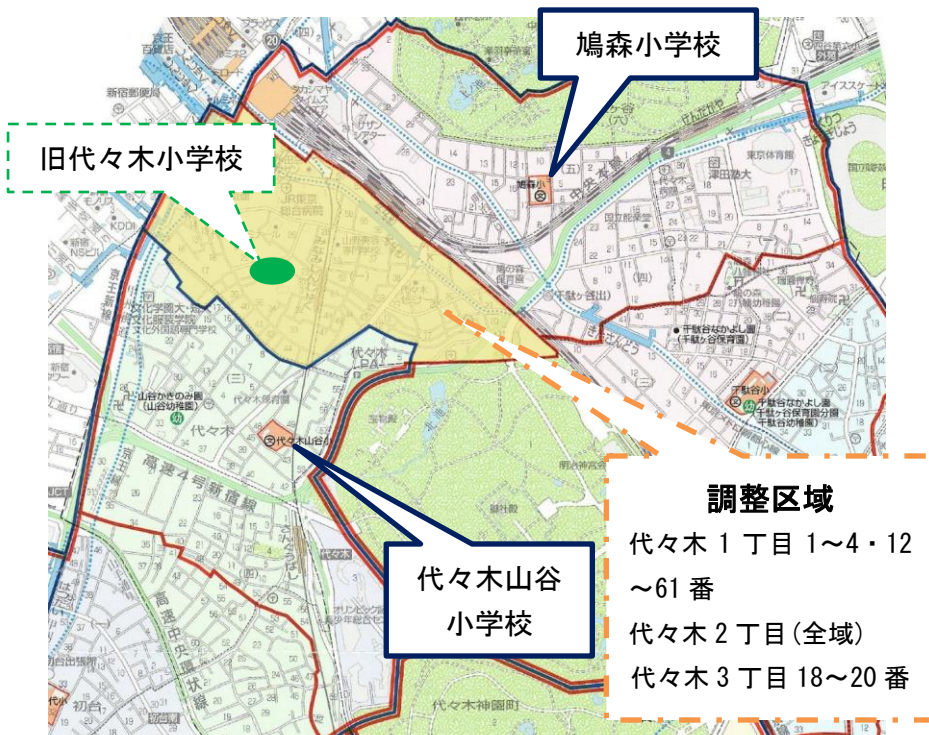
- (1) 代々木山谷小学校の児童数増に対応するため
- (2) 鳩森小学校の学校規模の適正化を図るため

3 新設する調整区域

指定校	希望校	調整区域
代々木山谷小学校	鳩森小学校	代々木1丁目1~4・12~61番 代々木2丁目(全域) 代々木3丁目18~20番

4 スケジュール

- 8月中旬 令和5年度就学予定者へ「就学予定校のお知らせ」を送付
- 11月初旬 指定校変更相談の受付期限
- 12月中旬 「就学通知書」の送付
- 1月下旬 新入生保護者説明会(各校)
- 4月 入学式



都営住宅入居者募集始まる

申込期限:8月16日(火)必着

[ポイント方式・家族向]

- 2人以上世帯/広尾五丁目(1戸)、幡ヶ谷三丁目(3戸)、渋谷本町一丁目(1戸)
- 3人以上世帯/笹塚一丁目第2(1戸)、幡ヶ谷三丁目(1戸)

[抽せん方式・単身向]

- 1人世帯/幡ヶ谷三丁目(2戸)、広尾5丁目(2戸)、渋谷区東二丁目第2(1戸)、笹塚二丁目(2戸・改良住宅)、幡ヶ谷2丁目第2(2戸・改良住宅)
 - 居室等で病死等があった住宅 単身者向け2戸
- ※申込書は、田中まさや事務所にもあります。

代々木山谷小学校の児童数増などへの対応として、通学区域内に「調整区域」を設定
学校統廃合による校地面積の削減が、教育環境の悪化を招く

代々木山谷小学校の通学区域の一部に、鳩森小学校を希望すれば入学を認める「調整区域」を設定することが、7月20日の文教委員会に突然報告されました。(文教委員会資料・左記参照)

報告によれば、(1)代々木山谷小学校の児童数の増加でクラス数の確保が困難になっていること、(2)鳩森小学校の学校規模を文部科学省が「適正規模」としている12

〜18学級に「適正化」するため、「調整区域」の子どもを鳩森小に通わせるというものです。

代々木山谷小は、ここ数年で児童数が急増し、必要な教室が確保できない事態になっています。保護者からは、代々木地域交流センター(旧代々木小学校)を活用する案も出てしていると聞いています。PTAが、子どもを中心に、PTAや住民の声を十分に聞いて

解決すべきです。

統廃合によって児童増加への対応が困難に

問題の背景に、保護者や地域住民の反対の声を無視して、代々木小と山谷小を統廃合した問題があります。

この統廃合によって、校地面積は代々木小と山谷小の合計1万832㎡が代々木山谷小だけの5,108㎡と約53%も減少。統廃合しな

また渋谷区は、今年度から小学校の学校選択希望制を廃止しました。それは小学校が地域のコミュニティや防災の拠点であるからです。今回の対応は、この方針にも反します。

子ども一人ひとりに目が届く少人数学級や小規模校の良さを無視して、国の35人学級や「適正規模」を押し付けて良いのでしょうか。

●代々木小と山谷小の統廃合後の推移

		2012年度	2013年度	2022年度	校地面積	2012度比
		平成24年度	平成25年度	令和4年度		
代々木小	児童数	101	※2013年度～事実上、代々木山谷小に統廃合		5,724	校地面積は、統廃合前の47.2%に減少
	学級数	6				
山谷小	児童数	231				
	学級数	9				
代々木山谷小	児童数	(332)	320	473	5,108	+141人 ±0
	学級数	(15)	12	15		